

令和6年度 氷見市教育総合センターだより 第5報

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果分析より

令和6年度全国学力・学習状況調査結果の分析に基づき、各学校では、授業改善や学習習慣づくりの見直し等に取り組んでいただいています。ここでは、本市の結果及び実態についてお知らせします。

【教科に関する調査の結果より（平均正答率）】

小学6年生 義務6年生	氷見市	全国	富山県	中学3年生 義務9年生	氷見市	全国	富山県
国語	64	68	69	国語	60	58	60
算数	60	63	64	数学	54	53	56

小学6年生・義務6年生は、国語、算数の平均正答率が全国を下回り、中学3年生・義務9年生は、国語、数学の平均正答率が全国を上回りました。小・中・義務教育学校共に、全教科において記述式の問題に課題がみられました。

【児童生徒質問紙調査の結果より（全国・県平均と比較して）】 ◎上回っている ▼下回っている

- ◎「自分によいところがある」「人が困っていると、進んで助けている」「学校へ行くのは楽しい」「友達関係に満足している」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」（達成感・自己有用感等）
 - ◎「地域や社会をよくするために何かしてみたい」（地域や社会に関わる活動の状況等）
 - ◎「分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫している」「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりしている」（授業改善の取組）
- 今後も、共感的な人間関係を育み、自己実現を図ることができるよう、更に児童生徒理解を深め、指導を充実させていくことが大切です。

▽小学校：「前学年までに受けた授業で、コンピュータ等のICT機器を週1回以上使用した」「普段、1日当たり2時間以上テレビゲームをしている」

▽中学校：「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強をしている」

ICTの効果的な活用、家庭学習の充実について、今後も対策を講じ、学ぶ意欲を高める指導の工夫が必要です。

【参考】①学力向上推進チームのHP（様々なコンテンツを掲載）

②各校の課題に基づいた具体的実践策 [☞小中共同>教育総合センター>05-学力向上関係>R6 全国学テ活用ワークシート（学校より提出）](#)

教育実践記録等のまとめ方・書き方のポイント研修会 12月4日（水）

講師 教育総合センター 教育指導主事 谷内口 まゆみ 先生

谷内口教育指導主事からは、「書くことは人を確かにする!!」ことへの思いを込めて、「記述する際のポイントを学ぶ」ことを目当てに、「①実践の切り取り方」「②記述」「③考察」「④まとめ」について、分かりやすく教えていただきました。

導入では、前回での学びや、大切にしたいこと「①目指す姿は」「②そのために、どんな手立てを」「③どんな姿が見えたらOKか」「④それを何で確かめるのか」などについて確認し、子供の姿を具体的にするとは、どのようなことなのか、「学びが深まった子供の姿」を例に、ペアで対話しながら、イメージを膨らませる姿が見られました。研修会の最後にもペアで振り返り、一人一人が感じ、考えたことを伝え合いました。



<感想より>

- ・アンケート等の数値だけでなく、自分の目を見て、やってみたことを、自分の言葉で表現していきたい。
- ・子供の具体的な姿を思い浮かべながら、どんなことを実践したら、どんな子供に育つのかを考えて実践し、子供の姿を具体的に書いていきたい。
- ・子供の具体的な姿は、授業記録だけでなく、普段の活動、表現、作文、生活の様子から、根拠となるものが見えてくると思った。子供の見方を深めていきたい。

第3回 ICTを活用した授業づくり研修会

11月1日(金)

指導助言 富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 長谷川 春生 先生

【十二町小学校】3年総合的な学習の時間「大好き十二町～十二町の『すてき』を見つけよう～」

授業者：竹原 瑞樹 教諭

○本時におけるICT活用

- ・本時の目標「調べた情報を整理し、自分が伝えたい内容に適した写真を選ぶことができる」の達成に向け、撮影した写真をフォルダ別に整理して選びやすくしたり、xSyncの配信・提出機能を活用して互いの考えを可視化・共有できるようにしたりする。

○学習の様子

- ・「朝日丘小学校の3年生に十二町小学校の『すてき』を伝えよう①」では、それぞれが伝えたい十二町の『すてき』を決め、スライドを作成した。本時では、自分の思いや願いを基にスライドに使う写真を選び、ペアや全体で写真を選んだ理由について伝え合った。
- ・導入では、教師が作成したスライドをxSyncで配信し、『すてき』を伝えるための工夫を見付ける活動を行った。児童は、工夫されていると思う部分を丸で囲んで提出し、全体で共有を図った。
- ・整理されたフォルダから3枚の写真を選んだ後、児童は、それぞれの写真を選んだ理由について、端末の画面を見せながら、互いに伝え合ったり、参観者に説明したりした。



＜写真を選んだ理由について説明する様子＞

○協議会 (TeamsのWhiteboardを使い、グループごとに付箋メモをまとめながらの協議)

- ・導入で提示されたスライドを見て、その工夫を考えたことにより、児童は見通しをもって学習に取り組むことができた。整理された写真フォルダがあったことで、情報にアクセスしやすくなっていた。
- ・スライドに使う写真を3枚に限定したことで、児童はどの写真にすればよいかを真剣に考えていた。説明を入れるのであれば、1枚のスライドに写真1枚というのも見やすくてよいのではないかな。
- ・xSyncの不具合に臨機応変に対応されたところがよかった。今回のようなことを想定して、授業者は、バックアッププランを考えておくことが大切である。

○指導助言

- ・「十二町の『すてき』を朝日丘小学校の3年生に伝える」という明確な目標があることで、児童は必要感をもって本時の学習活動に取り組んでいた。
- ・教師が児童の実態を的確に把握することで、実態に応じた効果的なICT活用が図られていた。そのことは、児童の学習意欲や互いの思いや考えを伝え合いたいという気持ちを高めていた。
- ・ICT機器のトラブルはよくある。機転を利かせ、今回のように参観者を授業に巻き込むのはよい。

氷見市ネット対策フォローアップ事業 「ネットトラブル防止講演会」

11月20日(水):海峰小学校、北部中学校

講師：ソーシャルメディア研究会 チーフ技術指導員 竹内 義博 先生

児童生徒のネットトラブルの防止を目的とした「ネットトラブル防止講演会」を海峰小学校と北部中学校で開催しました。

【海峰小学校】(海峰小・上庄小・灘浦小5、6年生)

3校の5、6年生が参加し、講師の竹内先生から「ネットのトラブルに巻き込まれないために」というテーマでお話を聞きました。「正しく怖がり、賢く使う」というネットとの上手な付き合い方等を学びました。LINE等でのトラブルが誤解から始まる事例を示され、誰かが聞き返す(助ける)ことによって回避できることも教えていただきました。児童の中からは、「LINE電話で直接話す」という意見も出されていました。



【北部中学校】(1、2、3年生)



全校生徒が参加し、「ネット時代の私たち、被害者にも加害者にもならない」というテーマで、動画を見ながら実際にあった事例について紹介していただき、ネット利用の危険性について理解を深めました。特に、連日報道されている「闇バイト」については、犯罪に加担してしまうまでの過程や、どう防げばよいのか等について、友達との「雑談タイム」を交えながら、分かりやすく学ぶことができました。メモを取りながら真剣に講演を聴く生徒の姿から、ネット時代の「影」の部分の正しく怖がり、「そんなつもりはなかった…」と後悔しないように、賢く利用したいという意識の高まりが感じられました。

令和6年度「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業 講演会 11月12日(火):芸文館
演題 「僕が“怪魚ハンター”になったワケ。

～『好き』を突き進んだら仕事になっていた～

講師 小塚 拓矢 氏 (怪魚ハンター、釣り旅作家、株式会社 Monster Kiss 代表)



氷見市では、中学校2年生、義務教育学校8年生を対象に、郷土の著名人や一流選手等を招いて講演会を開催しています。

本年度は、「怪魚ハンター」として知られている小塚拓矢氏に講演をしていただきました。講演に先立ち、出演したテレビ番組の映像を披露され、生徒は海外で巨大な怪魚を釣り上げている様子に興味深く見入っていました。

小塚氏は、魚が好きで釣りを始めた園児の頃から、生徒会誌を制作する楽しさを味わった中学生時代、仲間と共に自転車で神戸まで旅をした高校生時代、海外で釣り旅を始めた大学生時代、大学院在学中に始めた怪魚釣り執筆・出版までを赤裸々に紹介されました。また、「怪魚ハンター」として、世界を旅して怪魚を釣り上げる活動が続けながら、就職活動や、釣り竿を製作する会社の立ち上げまでを紹介され、困難や挫折を乗り越えた経験とともに、自分の思いや生き方と向き合ったエピソードについて熱く語られました。

生徒には、「好きなことを突き進むことの大切さ」「この瞬間の経験は、必ず未来につながっていること」「やり通せば、必ず道は開けていくこと」等、将来に向けた言葉を届けていただき、有意義な講演となりました。



<生徒の感想より> (一部抜粋)

- 学んだことが四つあります。「好き」を続けること。「今」を楽しむこと。今を楽しむために、「苦労」が必要だということ。「挑戦」する気持ちを大切にすること。自分の考え方が変わりました。
- 「『実践』が一番の近道」「命を大事にするのと、命を過保護にするのは違う」「『無理だ』と思うときこそがチャンス」この三つの言葉がとても印象に残り、自分が変わる、できることがあると改めて考えることができました。

第2回 若手教員研修会 (中学校・義務教育学校:後期) 11月27日(水):北部中学校
講師 北部中学校 校長 櫻打 佳浩 先生、十三中学校 校長 狩野 美智代 先生



「自己指導能力の育成」をテーマに、育てたい具体的な姿をグループで出し合い、それを目指して、自分はどう取り組んでいくかを考え、共有しました。

狩野校長先生からは、「『こういう生徒に育てたい』という願いを明確にもち、全力で取り組むこと」、櫻打校長先生からは、「自己指導能力の育成に向けて、コーチングの力を高めていくこと」の大切さを教えていただきました。

<感想より> 内発的動機付けが大切であることを学んだ。生徒に寄り添いながら、いろいろ質問していくことで、生徒自身に気付かせていきたい。日頃の生徒との接し方を改めて考えさせられた。

第2回 若手教員研修会 (小学校・義務教育学校:前期) 11月29日(金):教育文化センター
講師 海峰小学校 校長 川淵 公昭 先生、教育総合センター所員等



『学級づくり』と『授業づくり』、『仲間づくり』と『ネットワークづくり』をテーマに、「学級経営部会」「生徒指導部会」「学習指導部会1・2」「特別支援教育部会」「発問や板書に関する授業部会」のグループに分かれ、協議しました。日頃感じている悩みや困りごとを共有し、同じような経験や解決策等を積極的に出し合いながら、活発な意見交換が行われました。

<感想より> 若手教員が一堂に集まる機会は、これまであまりなかったため、とても有意義な時間であった。互いの取組を知ったり、悩みを共有したりして、具体的な支援につなげていくという意欲が高まった。

< 新任 A L T (外国語指導助手) の自己紹介 >

Kevin Dobbins Introduction

Hello, my name is Kevin Dobbins. I am from Saint Louis, Missouri in the U.S., and I moved to Himi about 4 months ago. Before joining the JET Programme, I worked as an auditor in the aerospace industry for 5 years. Currently I work at Himinoe and Miyada elementary schools. From the moment I arrived, I've felt extremely welcomed and have enjoyed getting to know the students and teachers at both schools. In addition to the schools I work at, the city of Himi itself has also been very welcoming. Every morning I feel lucky being able to look out my window and see the beautiful view of mountains and ocean. It's quite a change from where I lived in the U.S.! I'm very much looking forward to learning more about Himi and Japan during my time here. Thank you!

Kevin Dobbins James



ケビン・ドビンスの紹介

こんにちは。私の名前は、ケビン・ドビンスです。アメリカのミズーリ州セントルイスの出身で、約4か月前に氷見に引っ越してきました。JETプログラムに参加する前は、航空宇宙産業で監査員として、5年間働いていました。現在は、比美乃江小学校と宮田小学校に勤務しています。到着した瞬間から、私はとても歓迎されていると感じ、両校の児童や教師と知り合うことができ、とても楽しかったです。私が働いている学校に加えて、氷見市もとても歓迎してくれています。毎朝、窓の外を眺めると、山と海の美しい景色を見ることができて、幸せだと感じています。アメリカに住んでいた頃とは、かなり変わりました！ここにいる間、氷見と日本について、もっと学ぶことをとても楽しみにしています。ありがとうございます！

Back into the new life

Hello! My name is Aaron Ismael Elias. I am from Moreno Valley, California, United States. When I was a university student, I studied Photography, videography, and Japanese. I also studied abroad at Seijo University in Setagaya, Tokyo for 1 semester. I lived in Japan as an exchange student, and experiencing the language and culture has grown my interest and love for Japan. I enjoyed and loved every moment so I had to return to Japan. I love traveling, exploring places I've never been to, working out, taking photos, video editing, and watching/playing sports. My favorite Baseball team is the Los Angeles Dodgers! I have been living in Himi city for about 4 months now. Himi city is a beautiful place. It is very calm, safe, and wonderful place to live in. I enjoy teaching at my elementary schools and am excited to teach everyday. So let's learn English together!

Aaron Elias Ismael



(日本に) 戻って新たな生活へ

こんにちは！僕の名前はアーロン・イスマエル・エリアスです。アメリカ合衆国カリフォルニア州モレノバレー出身です。大学では写真、ビデオ、日本語を勉強しました。また、東京の世田谷にある成城大学に1学期間、留学しました。交換留学生として日本に滞在し、言葉や文化に触れることで、日本への興味と愛情が深まりました。どの瞬間も楽しくて大好きだったので、日本に戻らなければ、と感じました。旅行、行ったことのない場所を探検すること、体を鍛えること、写真を撮ること、ビデオ編集、スポーツを見たりプレイしたりすることが大好きです。好きな野球チームはロサンゼルス・ドジャースです！氷見市に住んで4か月になります。氷見市はとても美しい所です。とても穏やかで、安全で、素晴らしい所です。小学校で教えるのが楽しくて、毎日わくわくしています。一緒に英語を学びましょう！



いつでも気軽に、借りてください！



今年度も、センター所蔵の教育図書等を先生方に活用いただき、4月からの貸し出し冊数は、**86冊** (12月現在) となっています。これからも気軽にご活用ください。(返却は棚入れでもOKです)